

美佐野高橋水管橋布設替設計業務委託

特記仕様書

御 嵩 町 水 道 事 業

本業務は岐阜県設計業務委託共通仕様書を準用する。

1.	業務概要	1
2.	委託概要	1
3.	総則	1
4.	一般事項	3
5.	照 査	4
6.	業務内容	5
7.	提出書類（成果品）	8
8.	準拠すべき図書及び基準等	8
9.	業務対象外項目	9

1. 業務概要

本業務は、老朽化した水管橋を更新することによる給水の安定性向上を目的とし、工事発注に必要な資料及び設計図書等を作成する業務である。

2. 委託概要

委託名称	美佐野高橋水管橋布設替設計業務委託
------	-------------------

委託場所	御嵩町美佐野地内
------	----------

工 期	契約締結の日～令和 5 年 2 月 28 日
-----	------------------------

計画諸元	橋梁添架管 L=20m 配水管 L=290m
------	---------------------------

業務項目	設計協議、現地調査 配水管布設替詳細設計 添架形式水管橋詳細設計 測量調査（現地測量）
------	--

3. 総則

3. 1 業務の目的

老朽化した水管橋を更新することにより給水の安定性向上、住民サービスの向上を目的とする。本業務では、工事発注に必要な資料及び設計図書等の作成を行う。

3. 2 仕様書の適用

本業務は、仕様書及び本特記仕様書に従い設計しなければならない。ただし、特別な仕様については、調査職員の指示に従い設計しなければならない。

なお、仕様書で準用する「岐阜県設計業務委託共通仕様書」による監督員は、本業務において調査職員と読み替えて適用する。

3. 3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書の明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

3. 4 法令の遵守

受注者は、業務の実施にあたり、関連する法令等を遵守しなければならない。

3. 5 中立性の保守

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

3. 6 秘密の保守

受注者は業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

3. 7 提出図書

受注者は、業務の着手及び完了にあたって、発注者の契約約款の定めるものの外、下記の書類を提出しなければならない。

- ・ 業務工程表
- ・ 業務計画書
- ・ 管理技術者及び照査技術者、担当技術者選(解)任通知書
- ・ 業務経歴書及びTECRISの写し
- ・ 業務完了通知
- ・ 納品書(成果品)
- ・ 請求書

なお、承諾された事項を変更しようとするときは、その都度承諾を受けなければならない。

3. 8 入札業者条件

- (1) 入札業者は、岐阜県内に本店、支店または営業所等を有すること。ただし、本店、支店又は営業所等が御嵩町競争入札参加資格審査の申請において、所在地として登録されていること。かつ、営業種目において「上水道及び工業用水道部門」が登録されていること。
- (2) 平成 24 年度以降、元請けとして岐阜県内の地方公共団体等が発注した水道における以下の同種業務の実績を有すること。※証明する書類として、テクリスの写しを添付すること。

同種業務：(1) 上水道又は簡易水道事業における水管橋詳細設計業務

3. 9 配置技術者

- (1) 受注者は、管理技術者及び照査技術者、担当技術者をもって秩序正しく業務を行わせるものでなくてはならない。
- (2) 管理技術者：上下水道部門(上水道及び工業用水道科目)の技術士又は RCCM（上水道及び工業用水道）の資格を有する者。

- (3) 照査技術者：上下水道部門(上水道及び工業用水道科目)の技術士又は RCCM（上水道及び工業用水道）の資格を有する者。
- (4) 担当技術者：3. 8 (2) の同種業務に掲げる業務に従事した実績を有する技術者
- (5) 各技術者は他の技術者と兼ねることはできない。
- (6) 本業務に従事する各技術者は、岐阜県・愛知県・三重県内の営業所等に常駐する者とし、代表者が発行する在籍証明書をもってこれらの身分・在籍を証明すること。

3. 1 0 成果品の審査

- (1) 受注者は、業務完了時に発注者の成果品審査を受けなければならない。
- (2) 成果品の審査においては、訂正を指定された箇所は、直ちに訂正しなければならない。
- (3) 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務の瑕疵が発見された場合、受注者はただちに当該業務の訂正を行わなければならない。

3. 1 1 引渡し

成果品の審査に合格後、本仕様書に指定された提出図書一式を納品し、発注者の検査員の検査をもって、業務の完了とする。

3. 1 2 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合、または仕様書に定めのない場合は、発注者、受注者協議の上、これを定める。

3. 1 3 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれに当り、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

3. 1 4 証明書の交付

必要な証明書及び申請書の交付は、受注者の申請による。

4. 一般事項

4. 1 一般事項

- (1) 業務実施にあたって、受注者は調査職員と密接な連絡を取り、その連絡事項をそのつど記録し、打合せの際、相互に確認しなければならない。
- (2) 業務着手時及び業務の主要な区切りにおいて、受注者と発注者は打合せを行うものとし、その結果を記録し、相互に確認しなければならない。

4. 2 設計上の疑義

設計上疑義の生じた場合は、調査職員と協議の上、これらの解決にあたらなければならない。

4. 3 資料

設計の計算根拠、資料等はすべて明確にし、整理して提出しなければならない。

4. 4 参考資料の貸与

発注者は、業務に必要な更新に係る既設データ、その他関連資料を所定の手続によって貸与する。ただし、既設参考資料の無いものについては現場調査を行い新規に作成すること。

4. 5 参考文献等の明記

業務に文献、その他資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記しなければならない。

4. 6 安全対策とモラルの維持

- (1) 安全対策
 - ・作業中は安全帽、安全靴、安全衣を着用し、みだれた服装はしない。
 - ・作業中は交通安全に十分注意を払い、互いに安全を保つように協力する。
 - ・責任者は規律ある行動をし、作業員の指示にあたる。
 - ・責任者は現地調査時に交通状況、危険箇所等を調査し、作業員に十分な指導をする。
 - ・道路上での作業は、保安施設を配備し、車輛、歩行者の交通に注意する。
- (2) 現場作業でのモラルの維持
 - ・地元住民への挨拶を励行する。
 - ・私有地に立ち入る場合は、その居住者等に声をかけること。
 - ・通行の妨げとなる場所には駐車しない。
 - ・農作物を大切にする。
 - ・むやみに伐採をしない。
 - ・作業の後片付けをし、測量杭等の作業時に使用したものは持ち帰る。
 - ・タバコの吸殻、飲料の空き容器等は現場に放置せず持ち帰る。

5. 照 査

5. 1 照査の目的

受注者は業務を遂行する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めると共に、さらに照査を実施し、設計図書に誤りがないうよう努めなければならない。

5. 2 照査事項

受注者は業務全般にわたり以下に示す事項について照査を実施しなければならない。

- (1) 基本条件の設定内容について
- (2) 検討結果の妥当性について
- (3) 実施設計成果品の妥当性について
- (4) その他係員が指示した事項

6. 業務内容

本業務は、町管理の高橋に添架する配水管の更新を行うものである。更新設計にあたっては各管理者への協議資料、説明資料の作成を行い業務遂行するものとする。

6. 1 対象施設

本業務の対象施設は、以下のとおりとする。

配水管布設替詳細設計

添架形式水管橋詳細設計：L＝20m

配水管詳細設計：L＝290m

測量調査

作業計画：1 業務

現地測量：0.005km²

6. 2 設計協議

業務を円滑に行うため、下記の各段階で必要な事項について協議を行うこと。なお、その他に必要が生じた際も随時協議を行うものとする。

また、協議の議事録は受注者が作成し、発注者に 2 部提出し承認を得るものとする。発注者は内容を確認のうえ、捺印後 1 部を受注者に返送する。

- 初回打合せ(業務開始時)

業務内容の確認(要望事項・内容、作業方針、工程、検討事項・内容等の協議確認)
及び貸与資料等の確認

- 中間打合せ
中間報告及び作業中に発生する諸条件の処理に関する確認
- 最終打合せ(業務完了時)
総括説明及び成果品納入、検収の立会い

6. 3 現地調査

管路布設替えの予定地点及びその周辺を対象に現地調査を行い、地下埋設物や地上架設物等の現地状況を把握する。

6. 4 配水管詳細設計

配水管の詳細設計業務は、設計図書、設計指針、技術文献及び各種調査検討資料など既存の関連資料をもとに、計画地点の地形、道路交通状況、沿道利用状況、既設占用物件状況などに基づき、施工性、経済性、機能性、維持管理、安全性、環境等の観点から構造形式、線形、施工方法について総合的な技術検討を行い、埋設管理及び弁、弁室などの管路附属施設等の最適な構造、線形、施工方法の選定を行うとともに、工事に必要な詳細構造を設計し、経済的かつ合理的に工事の費用を算出するための資料を作成することを目的とする。

(1) 現地調査

受注者は、設計図書に示された設計対象路線の現地踏査を行い、地形、地質、沿道の利用状況、環境、埋設物等、現地状況を十分把握する。

(2) 設計計画

受注者は、業務の目的、主旨を把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成し、調査職員に提出する。

なお配水管の延長・管種等については、管の特性、施工性、経済性等を比較検討し、発注者の承諾を得るものとする。

(3) 各種計算

受注者は、発注者が提供した資料又は受注者の調査した項目について整理し、確認又は計画を行った後、次の図書を作成する。

管種選定表、管厚計算書、離脱防止継手計算書、防護コンクリート計算書、仮設計算書

(4) 設計図作成

受注者は、次に示す詳細設計図を作成する。

一般平面図、管路詳細図、管割図、土工図、仮設図、附属設備詳細図

(5) 数量計算

受注者は、決定した管路、弁室及び仮設構造物の詳細形状に対して、設計図書に基づき、構造物等の数量を工種別、区間別に取りまとめる。その数量には、道路付属物、舗装復旧を含む。

数量計算書、工期算定計画書

(6) 工事費積算

受注者は、前述迄の検討結果に基づき、調査職員が指示する工事発注単位ごとに、調査職員の示す様式、資料により次の図書を作成する。

工事設計書(金入、金抜設計書)、見積依頼書、見積比較書

(7) 仕様書作成

受注者は、前述迄の検討結果に基づき、調査職員が指示する工事発注単位ごとに、調査職員の示す様式、資料により次の図書を作成する。

工事特記仕様書

(8) 審査

照査技術者は、成果品に対して照査を行い、その内容を照査報告書として取りまとめる。

6. 5 測量調査

詳細設計を実施するにあたって、隣接周辺状況を確認するため、次に示す内容について測量を行う。

路線測量：配水管詳細設計に伴う測量調査

作業計画：1 業務

現地測量：0.005km²

6. 6 関係機関との協議用資料作成

業務にあたり、支障物や道路占用等に係る管理者との協議が必要となる場合は、資料作成を行う。

7. 提出図書(成果品)

(1) 基本事項

成果品の作成にあたって、編集方法・製本形式等についてあらかじめ調査職員と協議を行う。

(2) 成果品の構成

提出すべき成果品とその部数については、原則として以下のとおりとする。

1) 詳細設計報告書	(A4)	2 部
2) 設計図面	(A3)	2 部
3) 数量計算書	(A4)	2 部
4) 特記仕様書	(A4)	2 部
5) 工事設計書(金抜)	(A4)	2 部
6) 上記書類の電子ファイル(CD-R 等)		1 式

8. 準拠すべき図書及び基準等

(1) 基本事項

本業務は、水道法、水道法施行令、水道法施行規則、建築基準法、電気事業法、消防法等の法令・規格に準拠することは勿論であるが、その他次の図書に準拠・準用するものとする。

(2) 図書・基準等

1). 水道施設設計指針	日本水道協会
2). 水道維持管理指針	日本水道協会
3). 水道施設耐震工法指針・解説	日本水道協会
4). 水理公式集	土木学会
5). コンクリート標準示方書	土木学会
6). 道路橋示方書・同解説	日本道路協会
7). 杭基礎設計便覧	日本道路協会
8). 建築工事共通仕様書及び標準図	公共建築協会
9). 機械設備工事共通仕様書及び標準図	公共建築協会
10). 電気設備工事共通仕様書及び標準図	公共建築協会
11). 日本工業規格	工業技術院
12). 官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説	公共建築協会
13). その他関連法令(厚生労働省指導通達等)・条例及び規格等	